

## 市町村における幼児の発育に関わる食生活の心配事と 支援者の支援内容の実態調査

研究分担者 森永裕美子（香川大学医学部看護学科地域看護学）

研究代表者 石川みどり（国立保健医療科学院生涯健康研究部）

### 研究要旨

幼児健康診査（1歳6か月児及び3歳児を対象、以下、幼児健診という）において、保護者が子どもの食生活にどのような心配事があるのか、心配事に対する支援内容はどのようなことか、実態を明らかにし、幼児の食生活の心配事のうち、重要な項目や支援対象とすべき項目の明確化に寄与することを目的とした。

実態調査の結果、幼児の食生活の心配事のうち、保護者は「栄養バランスが良くないこと」「むら食い（食事が一定でないこと）」「食べるものが偏っている（偏食）」「遊び食べ（だらだら食べる）」「メディアの視聴時間が長い」といった5項目を主な心配事として認識していることが明らかになった。自治体を実施する幼児健診に従事する専門職が重点を置く支援内容としては、1歳6か月児健診と3歳児健診では成長・発達によりその内容は変わるが、概ね「食べるものが偏っている（偏食）」や「遊び食べ（だらだら食べる）」といった内容が主であり、特に偏食は、個別性の高い支援（保健指導等）となることが示唆された。また、支援者らは、「食生活」に関連する就寝・起床時間といった生活習慣、齲歯予防、食行動の安全などに重点を置いていることも明らかになった。

### A. 研究目的

乳幼児において一人ひとりの健康状態や発達段階に応じた栄養指導の充実が求められており、乳児期（離乳時期）における栄養指導ガイド（支援ガイド）は整っているが、幼児期における一人ひとりの健康状態や発達段階に応じた栄養指導ガイドがない。幼児期の食生活への支援は、今後の健やかな成長・発達を促すうえで重要な時期であるため、幼児健康診査等の機会をとらえた支援のあり方を整理して必要があると考えた。そこで、幼児健康診査（1歳6か月児及び3歳児を対象、以下、幼児健診という）において、保護者が子どもの食生活にどのような心配事があるのか、心配事に対する支援内容はどのようなことか、実態を明らかに

し、幼児の食生活の心配事のうち、重要な項目や支援対象とすべき項目の明確化に寄与することを目的とした。

### B. 研究方法

K市幼児健診において質問紙調査（別紙1）を実施する。具体的には、幼児健康診査（1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査）を受診された子どもの保護者200名、及び、調査当日従事された専門職（保健師、栄養士、歯科衛生士）で、常勤職員・非常勤職員とした。

調査内容は、保護者を対象に、「お子さんの食事の内容、食生活、健康について心配事があるか」といった項目への回答を求め、K市の幼児健診に従事する専門職員を対象に、母親

のチェック項目と、同じ項目について心配事がみられるか、支援の必要性を判断した背景、実施した支援内容、健診後に必要な（あるとよい）支援（保健指導・栄養指導）について回答を求めた。

（倫理面への配慮）

調査への参加・不参加は保護者及び自治体職員（専門職員）ともに自由意志とし、回答しなくても何ら不利益を生じることがないことを書面と口頭で説明をした。回答への協力をもって同意を得たものとする。回答後は、無記名のため撤回が困難であることを承知の上、回答いただくことについても説明した。本研究は、研究代表の所属機関（国立保健医療科学院；承認番号 NIPH-IBRA # 12158）及び実態調査の実施を担当した分担研究者の所属機関（香川大学医学部：2019年9月30日承認2019-106）の倫理審査委員会の承認を得て実施した。

## C. 研究結果

### 1. 保護者属性

- 1) 1歳6か月児対象の保護者
  - (1) 母年齢；平均 33 歳 (SD;5.2),  
父年齢；平均 34.8 歳 (SD ; 5.7)
  - (2) 母の就業状況；有職 61.6%,  
無職 36.0%, 無回答 2.3%
  - (3) 保育園利用の有無；あり 48.8%,  
なし 47.1%, 無回答 4.1%
- 2) 3歳児対象の保護者
  - (1) 母年齢；平均 33.7 歳 (SD;5.0),  
父年齢；平均 35.5 歳 (SD;5.7)
  - (2) 母の就業状況；有職 61.6%,  
無職 36.0%, 無回答 2.3%
  - (3) 保育園利用の有無；あり 48.8%,  
なし 47.1%, 無回答 4.1%

### 2. 心配事

- 1) 1歳6か月健診での保護者心配事  
「栄養素バランスが良くないこと 37.6%」, 「彩が良くないこと 37.8%」, 「むら食い（食事量が一定でない） 39.9%」, 「食べるものが偏っている（偏食） 37.0%」, 「遊び食べ（だらだら食べる） 41.9%」, 「よく噛まない 38.4%」, 「メディアの視聴時間が長い 30.2%」であった。
- 2) 3歳児健診での保護者心配事  
「栄養バランスが良くないこと 40.6%」, 「むら食い（食事量が一定でない） 59.9%」, 「食べるものが偏っている（偏食） 38.9%」, 「あそび食べ（だらだら食べる） 43.2%」, 「だらだら食べる（時間がかかる） 59.4%」, 「メディアの視聴時間が長い 45.1%」であった。
3. 支援者が支援すべきと判断して支援した内容（保健師・管理栄養士・歯科衛生士の3職種の合計割合）
  - 1) 1歳6か月児健診時  
「栄養素バランスが良くないと思う 19.1%」, 「料理の種類と組み合わせバランスが良くないこと 13.1%」, 「肥満、やせなど、成長に関すること 13.1%」, 「仕上げ磨きをしていないこと 14.8%」, 「食べるものが偏っている（偏食） 25.8%」, 「卒乳できない 21.8%」, 「遊び食べ（だらだら食べる） 22.2%」, 「だらだら食べる（時間がかかる） 15.8%」, 「速く食べる 13.7%」, 「よく噛まない 23.1%」, 「就寝・起床時間のこと 21.6%」, 「おやつ摂取回数、時間のこと 13.4%」, 「お腹がすくほど運動（外遊び等）していない 10.8%」であった。

2) 3歳児健診時

「食べる量がいつも少ない 38.0%」,  
 「むら食い(食事量が一定でない)  
 64.6%」, 「食事・間食の回数が多い、  
 少ないこと 12.6%」, 「種類・量(お菓子を含む)を管理できていないこと  
 13.9%」, 「種類・量(甘い飲み物含む)  
 を管理できていないこと 25.9%」, 「食  
 事や摂食時の行動が安全でない  
 21.3%」, 「歯が痛い(齲歯) 20.0%」,  
 「食べ物に関心がない 21.3%」, 「食  
 べるものが偏っている(偏食) 70.6%」,  
 「あそび食べ(だらだら食べる)  
 20.4%」, 「だらだら食べる(時間がか  
 かる) 47.6%」, 「就寝・起床時間のこ  
 と 20.8%」, 「メディアの視聴時間が  
 長い 11.7%」であった。

4. 1歳6か月児健診時と3歳健診時の保  
 護者の心配事共通項目(表1)

1歳6か月児健診及び3歳児健診におけ  
 る保護者の心配事の共通項目は、「栄養素  
 バランスが良くないこと」「むら食い(食  
 事量が一定でない)」「食べるものが偏っ  
 ている(偏食)」「あそび食べ(だらだら食  
 べる)」「メディアの視聴時間が長い」の5項  
 目があった。

5. 1歳6か月児健診時の保護者と支援者の心  
 配事として共通していた項目(表2)

保護者の心配事に対して、支援者は共通  
 項目が1歳6か月児健診では、4項目あっ  
 った。4項目すべて保護者の方が心配事とし  
 て捉えている(認識している)割合が高か  
 った。支援者はそれを大きな問題として支  
 援(保健指導等)を行っていなかった。

6. 3歳児健診時の保護者と支援者の心配事

として共通していた項目(表3)

保護者の心配事に対して、支援者は共  
 通項目が3歳児健診では、5項目あった。  
 この5項目のうち、「むら食い(食事量が  
 一定でない)」「食べるものが偏っている  
 (偏食)」に関してのみ、保護者より支援  
 者の方が心配事(問題点)と捉えて支援  
 (保健指導等)を行っていた。

表1 1歳6か月児健診時と3歳健診時  
 の保護者の心配事共通項目

共通項目(保護者)	1.6健診	3健診
・栄養素バランスが良くないこと	37.6	40.6
・むら食い(食事量が一定でない)	39.9	59.9
・食べるものが偏っている(偏食)	37.0	38.9
・あそび食べ(だらだら食べる)	41.9	43.2
・メディアの視聴時間が長い	30.2	45.1

表2 1歳6か月児健診時の保護者と支援者の  
 心配事として共通していた項目

1.6健診	保護者	支援者
・栄養素バランスが良くないこと	37.6	19.1
・食べるものが偏っている(偏食)	37.0	25.8
・あそび食べ(だらだら食べる)	41.9	22.2
・よく噛まない	38.4	23.1

表3 3歳児健診時の保護者と支援者の心配事  
 として共通していた項目

3健診	保護者	支援者
・むら食い(食事量が一定でない)	59.9	64.6
・食べるものが偏っている(偏食)	38.9	70.6
・あそび食べ(だらだら食べる)	43.2	20.4
・だらだら食べる(時間がかかる)	59.4	47.6
・メディアの視聴時間が長い	45.1	11.7

## D. 考察

保護者が心配事として認識していた1歳6か月児時点と3歳児時点の共通項目では、3歳児時点のほうが心配事として認識している割合が多い傾向があった。食生活における保護者からみた心配事は、「バランス」に焦点があたり、栄養バランス、食事量のバランス、食べるもののバランス、食べる時間のバランスといった食生活における理想的パターンが潜在的にあり、「心配事」としても列挙されてくるのではないかと考えられる。1歳6か月児時点では、離乳食から食事へと移行して間がなく、「自分で食べようとする事」「食事に興味を持つこと」<sup>1)</sup>に着目していると考えられる。幼児期の「偏食」「むら食い」「遊び食べ」は、その時期の発達の特徴である「味覚の発達」や「自己顕示」、「自我の芽生え」等の影響もあり、一過性のものであるとされる<sup>2)</sup>。3歳児になると1歳6か月児の時期に比べて発育・発達が進み、「食べ方」に個人差が生じるため<sup>3)</sup>、保護者も子どもの成長・発達を感じながら一層「バランス」を気にして子どもの健やかな発育・発達を促したい傾向がうかがえた。

支援者は、1歳6か月健診時点では、成長・発達の未熟な段階であることを踏まえ、この時期特有の卒乳やよく噛まないことに着目し、さらに生活リズムが食生活に影響することから就寝・起床時間のことへの支援（保健指導等）に重点を置いていると考えられた。

一方3歳児健診時点では、生涯を通じた食事リズムを身につける時期であり<sup>4)</sup>、支援者らは生活習慣や齲歯予防、成長に関連する食事量及び食事マナーも含めた食べ方、食べ物への関心などに重点を置いている。この時期は自己主張や発達障害に係る子どもの強いこだわりなどが顕在化してくる時期であるため、偏食への指導も個々人に合わせた個別性の高い保健指導<sup>5)</sup>

も含まれると考えられた。

## E. 結論

保護者が子どもの食生活にどのような心配事があるのか、心配事に対する支援内容はどのようなことか、実態調査を行った結果、幼児の食生活の心配事のうち、保護者は「栄養バランスが良くないこと」「むら食い（食事量が一定でないこと）」「食べるものが偏っている（偏食）」「遊び食べ（だらだら食べる）」「メディアの視聴時間が長い」といった5項目が主な心配事として認識していることが明らかになった。自治体が実施する幼児健診に従事する専門職が重点を置く支援内容としては、1歳6か月児健診と3歳児健診では成長・発達によりその内容は変わるが、概ね「食べるものが偏っている（偏食）」や「遊び食べ（だらだら食べる）」といった内容が主であり、特に偏食は、個別性の高い支援（保健指導等）となることが示唆された。また、支援者らは、「食生活」に関連する就寝・起床時間といった生活習慣、齲歯予防、食行動の安全などに重点を置いていることも明らかになった。

### 【参考文献】

- 1) 第5版 乳幼児健診マニュアル, 福岡地区小児医会 乳幼児保健委員会編集, 医学書院 2015
- 2) 赤石元子、酒井治子、土井正子他. 幼児の食事上の問題と対応, 上田玲子編. 子どもの食生活; 保育と小児栄養、ななみ書房、111-112, 2008
- 3) 高橋希, 祓川摩有, 新美志帆 他. 市町村母子保健事業の栄養担当者の視点に夜母子の心配事の特徴; 妊娠期・乳児期・幼児期に関する栄養担当者の自由記述の分析. 63 (9), 569-577, 日本公衆衛生雑誌,

2016

- 4) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局，楽しく食べる子どもに～食からはじまる健やかガイド～，「食を通じた子供の健全育成（-いわゆる「食育」の視点から-）のあり方に関する検討会」報告書，2004
- 5) 具体的な対応がわかる 気になる子の偏食 発達障害児の食事指導の工夫と配慮，徳田克己監修 西村実穂・水野智美編著，チャイルド本社，2014

## F. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

なし

## G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

1. 特許取得      なし

2. 実用新案      なし

以下の質問について、あてはまるところに○をつけるか、空欄に記入してください。

1) あなたは、お子さんとどのような関係ですか。

- 1 母親      2 父親      3 祖父母      4 1～3以外の養育者 (                      )

2) お子さんの状況についてお尋ねします。

生年月日	平成 (      ) 年 (      ) 月 (      ) 日生まれ		性別	男 ・ 女
出生時の身長	(      .      ) cm	現在の身長	(      .      ) cm	
出生時の体重	(      .      ) g	現在の体重	(      .      ) kg	
出生の順位	(                      ) 人目			

3) お子さんの食事や間食についてお尋ねします。

概ねこの1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。

お子さんは次の食べものをどのくらいの頻度で食べていますか。

①～⑰までについて、それぞれあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

	毎日 2回以上	毎日 1回	週に 4～6日	週に 1～3日	週に 1回未満	まだ食べていない (飲んでいない)
① 穀類 (ごはん)	1	2	3	4	5	6
② 穀類 (パン)	1	2	3	4	5	6
③ 魚	1	2	3	4	5	6
④ 肉	1	2	3	4	5	6
⑤ 卵	1	2	3	4	5	6
⑥ 大豆・大豆製品 (とうふ・納豆等)	1	2	3	4	5	6
⑦ 緑黄色野菜 (ピーマン・ニンジン等)	1	2	3	4	5	6
⑧ その他の野菜 (キャベツ・キュウリ・白菜等)	1	2	3	4	5	6
⑨ 海藻類 (わかめ・もずく・ひじき等)	1	2	3	4	5	6
⑩ 果物類	1	2	3	4	5	6
⑪ 牛乳	1	2	3	4	5	6
⑫ 乳製品 (チーズ・ヨーグルトなど)	1	2	3	4	5	6
⑬ お茶など甘くない飲料	1	2	3	4	5	6
⑭ 果汁など甘味飲料 ※ <sup>1</sup>	1	2	3	4	5	6
⑮ 甘いお菓子 (菓子パンを含む) ※ <sup>2</sup>	1	2	3	4	5	6
⑯ 塩味のお菓子 (ポテトチップ等) ※ <sup>3</sup>	1	2	3	4	5	6
⑰ インスタントラーメンやカップ麺	1	2	3	4	5	6
⑱ ファストフード ※ <sup>3</sup>	1	2	3	4	5	6

※1 主に炭酸飲料類 (コーラやサイダー) や果汁飲料などのことを言います。

※2 主にあめ、チョコレート、クッキー、アイスクリーム、ケーキ等と言います。

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成総合研究事業）  
分担研究報告書

※3 主にポテトチップ、スナック、おせんべい、等を言います。

※4 短時間で調理などされ、すぐに食べることができるハンバーガーやドーナツ、ピザなどの手軽な食事や食品を言います。

4) お子さんと同居しているご家族について、お子さんからみた続柄で、あてはまる番号を全て選んで○をつけてください。（複数回答可）

- 1 母親      2 父親      3 祖母      4 祖父  
5 兄弟（      ）人      6 弟妹（      ）人      7 その他親族等（      ）人

5) お子さんのお母さん、お父さんの年齢は、現在、何歳ですか。

お母さん（      ）歳      お父さん（      ）歳

6) お子さんのお母さんは働いていますか。「1. 働いている」を選んだ方は、現在どのような形態で働いていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 働いている      2. 働いていない

↓

ア：1. 自宅で仕事    2. 自宅以外で仕事

イ：勤務曜日、時間（      ）曜日～（      ）曜日、午前（      ）時～午後（      ）時

↳ 曜日により時間が異なる場合は、以下の  内に記入してください。

7) お子さんの日中の保育について、主に保育をお願いしている先としてあてはまる番号をすべて選んで○をしてください。（複数選択可）

- 1 保育所（園）      2 幼稚園      3 認定こども園  
4 祖父母や親戚      5 その他（      ）  
6 お願いしていない

8) 現在あなたの世帯の経済的な暮らし向きについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 ゆとりがある      4 あまりゆとりはない  
2 ややゆとりがある      5 全くゆとりはない  
3 どちらともいえない      6 答えたくない

9) 現在あなたの生活の中での時間的なゆとりについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 ゆとりがある      4 あまりゆとりはない  
2 ややゆとりがある      5 全くゆとりはない  
3 どちらともいえない      6 答えたくない

厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成総合研究事業）  
分担研究報告書

お子さんの食事の内容、食生活、健康について次の心配事がありますか			
ID番号【 】	お子さんの性別に○をつけてください（男 女）	回答欄	
項目	お子さんの食事の内容、食生活、健康について次の心配事がありますか (心配事とは、現在の状況に対する心配であり、将来に対する心配ではありません)	はい、いいえ に○をつけて ください。	
子どもの 食事・ 間食	食事の内容のこと	栄養素バランスが良くないと思う	はい  いいえ
		食品・食材の種類と組み合わせが良くないと思う	はい  いいえ
		料理の種類と組み合わせバランス（主食・主菜・副菜）が良くないと思う	はい  いいえ
		料理の味付けがわからない	はい  いいえ
		彩りが良くない	はい  いいえ
	食事・間食の量のこと	食べるものの大きさ・固さがわからない	はい  いいえ
		食べる量がいつも少ない	はい  いいえ
		食べる量がいつも多い	はい  いいえ
		むら食い（食事量が一定でない）	はい  いいえ
		食事・間食の回数が多い・少ない	はい  いいえ
間食（補食）のこと	種類・量（お菓子含む）を管理できていない	はい  いいえ	
飲み物のこと	種類・量（甘い飲み物含む）を管理できていない	はい  いいえ	
加工食品のこと	ファーストフード・インスタントラーメンばかり食べる	はい  いいえ	
子どもの 健康・ 栄養	身体的健康のこと	肥満・やせなど、成長に関する心配	はい  いいえ
		食事が美味しくなさそう	はい  いいえ
		食事時間が楽しくなさそう	はい  いいえ
		安心できない（ゆつたりとした気分でない）	はい  いいえ
	口腔機能のこと	食事や摂食時の行動が安全でない	はい  いいえ
		歯が痛い（齲歯）	はい  いいえ
		噛みにくい(歯が生えるのが遅い・かみ合わせなど)	はい  いいえ
		飲み込みにくい（咀嚼しにくい）	はい  いいえ
	受診・受療状況	口から食べ物をこぼしやすい	はい  いいえ
		仕上げ磨きをしていない	はい  いいえ
健診受診、歯科治療、受療（かかりつけ医）、医療費のこと	はい  いいえ		
発達についての受診や療育を継続的にしていない	はい  いいえ		
食物アレルギーがある	はい  いいえ		
子どもの 食行動	食事をつくること	食べ物に関心がない	はい  いいえ
		食材を栽培・収穫する体験をさせていない	はい  いいえ
		ジャム、干し柿、漬物など、ひと手間かけた手作り体験をさせていない	はい  いいえ
		料理づくり（調理）の体験(お手伝い)をさせていない	はい  いいえ
		盛り付けなど、お手伝いさせていない	はい  いいえ
	食事の質・量のこと	食べるものが偏っている（偏食）	はい  いいえ
		食べたことのある食物の種類が少ない	はい  いいえ
		アレルギー食の作り方がわからない（アレルギー症状がない場合は、いいえに○）	はい  いいえ
	食事の食べ方のこと	卒乳できない	はい  いいえ
		あそび食べ（だらだら食べる）	はい  いいえ
だらだら食べる（時間がかかる）		はい  いいえ	
速く食べる		はい  いいえ	
飲みこめない（ためる）		はい  いいえ	
子どもの ライフスタイルのこと	よく噛まない	はい  いいえ	
	食具（スプーン・フォーク）を使えない	はい  いいえ	
	食事時におなかがすいていない	はい  いいえ	
	家族と一緒に食べていない	はい  いいえ	
	家族と楽しく食べていない	はい  いいえ	
	食事時間が不規則になる	はい  いいえ	
	就寝・起床時間のこと	はい  いいえ	
	おやつのお取り回数、時間のこと	はい  いいえ	
おなかが空くほど運動（外遊び等）していない	はい  いいえ		
お母さま お父さま のこと	お母さまやお父さまの 食生活	電子メディア・情報通信機器（テレビ、ビデオ、タブレット端末等）の視聴時間が長い	はい  いいえ
		母（父）ご自身の食事（づくり）への意識（意欲）が低いなどの問題がある。	はい  いいえ
		食生活について、母（父）の育児の方針は ある。	はい  いいえ
		母（父）の食事作り（料理・調理）の得意・不得意の問題がある。	はい  いいえ
		母（父）自身の食生活リズム（時間、回数）に問題を感じている。	はい  いいえ
	母（父）自身の食生活スタイル（嗜好、傾向）に問題を感じている。	はい  いいえ	
家庭以外での食事	保育園での食事の様子を母（父）が把握（理解）していない。	はい  いいえ	
保育園における食事状況や問題点の有無について、保育園から情報の提供がない。	はい  いいえ		
その他 心配なことがあれば 自由に記入ください	17		



厚生労働科学研究費補助金 (成育疾患克服等次世代育成総合研究事業)  
分担研究報告書

ID番号【 】	お子さんの性別に○をつけてください ( 男 女 )		職種※に ( ) (心配事)とその番号 (番号)	支援内容	
項目	お子さんの食事の内容、食生活、健康について次の心配事がありますか (心配事とは、現在の状況に対する心配であり、将来に対する心配ではありません)		( ) ◎保健師 ( ) ◎栄養士 ( ) ◎歯科衛生士	支援した内容 (番号)	今後にあるよい支援 (番号)
子どもの 食事・ 間食	食事の内容のこと	栄養素/バランスが良くないと思う	( )	支援NO.	支援NO.
		食品・食材の種類と組み合わせが良くないと思う	( )		
		料理の種類と組み合わせ/バランス (主食・主菜・副菜) が良くないと思う	( )		
		料理の味付けがわからない	( )		
		彩りが良くない	( )		
		食べるもの大きさ・固さがわからない	( )		
	食事・間食の量のこと	食べる量がいつも少ない	( )	支援NO.	支援NO.
		食べる量がいつも多い	( )		
		むら食い (食事量が一定でない)	( )		
		食事・間食の回数が多い/少ない	( )		
間食 (補食) のこと	種類・量 (お菓子含む) を管理できていない	( )	支援NO.	支援NO.	
飲み物のこと	種類・量 (甘い飲み物含む) を管理できていない	( )			
加工食品のこと	ファーストフード・インスタントラーメンばかり食べる	( )			
子どもの 健康・ 栄養	身体的健康のこと	肥満/やせなど、成長に関する心配	( )	支援NO.	支援NO.
			( )		
	精神的健康のこと	食事が美味しくなさそう	( )		
		食事時間が楽しくなさそう	( )		
		安心できない (ゆったりとした気分でない)	( )		
	口腔機能のこと	食事や摂食時の行動が安全でない	( )	支援NO.	支援NO.
		歯が痛い (齲歯)	( )		
		噛みにくい (歯が生えるのが遅い・かみ合わせなど)	( )		
		飲み込みにくい (咀嚼しにくい)	( )		
	受診・受療状況	口から食べ物をこぼしやすい	( )	支援NO.	支援NO.
仕上げ磨きをしていない		( )			
	健診受診、歯科治療、受療 (かかりつけ医)、医療費のこと	( )	支援NO.	支援NO.	
	発達についての受診や療育を継続的にしていない	( )			
	食物アレルギーがある	( )			
子どもの 食行動	食事をつくること	食べ物に関心がない	( )	支援NO.	支援NO.
		食材を栽培・収穫する体験をさせていない	( )		
		ジヤム、干し柿、漬物など、ひと手間かけた手作り体験をさせていない	( )		
		料理づくり (調理) の体験 (お手伝い) をさせていない	( )		
	食事の質・量のこと	盛り付けなど、お手伝いさせていない	( )	支援NO.	支援NO.
		食べるものが偏っている (偏食)	( )		
		食べたことのある食物の種類が少ない	( )		
	食事の食べ方のこと	アレルギー食の作り方がわからない (アレルギー症状がない場合は、いいえに○)	( )	支援NO.	支援NO.
		卒乳できない	( )		
		あそび食べ (だらだら食べる)	( )		
だらだら食べる (時間がかかる)		( )			
速く食べる		( )			
飲みこめない (ためる)		( )			
よく噛まない		( )			
食具 (スプーン・フォーク) を使えない		( )			
食事時におなかがすいていない	( )				
子どものライフスタイルのこと	家族と一緒に食べていない	( )	支援NO.	支援NO.	
	家族と楽しく食べていない	( )			
	食事時間が不規則になる	( )			
	就寝・起床時間のこと	( )			
お母さま お父さま のこと	お母さまやお父さまの 食生活	おやつのお取り回数、時間のこと	( )	支援NO.	支援NO.
		おなかが空くほど運動 (外遊び等) していない	( )		
		電子メディア・情報通信機器 (テレビ、ビデオ、タブレット端末等) の視聴時間が長い	( )		
		母 (父) ご自身の食事 (づくり) への意識 (意欲) が低い などの問題がある。	( )		
	食生活について、母 (父) の育児の方針は ある。	( )			
	母 (父) の食事作り (料理・調理) の得意・不得意の問題がある。	( )			
家庭以外での食事	母 (父) 自身の食生活リズム (時間、回数) に問題を感じている。	( )	支援NO.	支援NO.	
	母 (父) 自身の食生活スタイル (嗜好、傾向) に 問題を感じている。	( )			
その他 心配なことがあれば 自由に記入ください	保育園での食事の様子を母 (父) が把握 (理解) していない。	( )			
	保育園における食事状況や問題点の有無について、保育園から情報の提供がない。	( )			
			項目を終了しなかった理由を含む		

### 支援者が当日の支援の必要性を判断した背景(リスト1)

番号	支援の必要性を判断した背景
a	事前(当日)カンファレンスでの確認があった。
b	同じ専門職内での確認があった。
c	問診票とカルテを確認して、必要と判断した。
d	他の職員から要請があった。
e	保護者の話をきいて、必要と判断した。
f	過去の経験に、同様の事例があった。
g	予防的観点から、必要と判断した（成長・発達、生活習慣、母の育児、虐待予防など）。
h	同僚・先輩に、気になることを相談して、必要と判断した。
i	研修で、そのように学習したことがあった。
j	マニュアルにある内容である。
k	その他

### 支援者が保護者の心配事に対して行った支援内容(リスト2)

番号	支援内容	カテゴリ
1	子の発育、食物アレルギーの有無を確認してもらう。	健康
2	子の食に関わる精神的健康を確認して食が子どもの発達に影響することについて理解してもらう。	
3	子の歯科口腔を確認して発達を理解してもらう。	
4	子の食事量・食べ方（不完全な段階を含む）を子の月齢に合わせて評価できるようになってもらう。	食事内容
5	子の食生活への関心をもってもらう	
6	親に食事づくり力（購入食品を利用した食事づくりなど含む）を向上してもらう。	食事をつくる
7	親に食物アレルギーの調理や食事のポイントを理解してもらう。	
8	楽しくたべることを理解してもらう。（例：一緒に食べる、テレビに夢中になりすぎない、食事マナー等）	食事をたべる
9	子の食べ方（例：手づかみ食べ）の特徴を理解してもらう。	
10	一緒に食べることの良さを理解してもらう。	親子コミュニケーション
11	一緒につくることの良さを理解してもらう。	
12	親の生活習慣が子の食生活に影響を与えることを理解してもらう。	自宅内の生活
13	母（父）が、子育て情報の使い方について理解してもらう。	
14	保育園等（自宅外）での具体的な食事の様子を聞いて把握しておくようにしてもらう。	自宅外の生活
15	保育所等、子どもの生活に関わる組織に相談することを提案する。	
16	療育センター・病院等に相談することを提案する。	連携協力
17	その他	